

## 鈴鹿市立天栄中学校 第1回学校運営協議会 報告書

- 1 日時 令和8年5月22日（金）16:00～17:30
- 2 場所 天栄中学校被服室
- 3 議事

### （1）委員の任命及び委員長・副委員長の承認

学校長より、委員長に 杉野 周二 氏、副委員長に 舟橋 智恵子 氏 が推挙され、承認された。その後、各委員及び学校代表より自己紹介がなされた。

### （2）開会あいさつ（学校運営協議会委員長）

委員長より、開会の挨拶がなされた。「学校運営に関する情報共有や実施状況に課題が見られるため、今後も会議参加を通じて継続的に検討していきたい。」との意見が出された。

### （3）各学年主任から学年のようす等について

各学年主任より、学年のようすの報告がなされた。

#### 3年生主任より

沖縄への修学旅行では、従来の固定的な内容にとらわれず、学年の実態に応じた柔軟な行程へ変更し、生徒は主体性と柔軟な対応力を発揮した。現在は、行事で得た自信を糧に、進路実現に向けて、各自が学習へ意欲的に取り組めるよう、切り替えをスムーズに進めている。

#### 2年生主任より

全体的に落ち着きは見られるが、一部で発生している生徒間トラブルに対しては、担任の粘り強い日常的な指導と学校生活の様子を積極的に情報発信することで保護者への情報共有を図っている。また、複数対応を徹底し、保護者への丁寧な説明と理解促進に努めている。

#### 1年生主任より

中学校生活への適応が進む中、体育祭等の行事を通じた集団づくりに注力している。6月には「SNSの使い方についての出前講座」を予定しており、生活面の課題改善と家庭連携の強化を図っている。

#### ○修学旅行の行先について

修学旅行の行先選定において、前例踏襲の固定的な計画から、学年の実態に応じた柔軟な決定へと方針を変更しました。障がいの有無に関わらず生徒全員の可能性を広げる視点を重視し、現3年生はこの方針に基づき「沖縄」を選択・実施した。

#### ○教職員体制について

特定の教員への業務負担の集中を防止するため、校務の平準化が必要である。特に若手教員が多い現在の本校においては、個人の負担を軽減し、組織的に育成・フォローができる「チームで支える体制づくり」の構築が必要となってくる。

#### ○自転車の乗り方について

生徒による自転車の危険行為（並走、無ブレーキ、坂道での危険走行）が課題となっており、命に関わる重大事故を防止するためにも、学校全体での交通安全指導の強化が急務となっている。

### ○校内環境について

現在、給食用ワゴンの返却に関わって、配膳室の入り口の開閉に支障をきたす状況が見られた。ドアの開閉されるエリアをテープで示したものの、その意図をくみ取ることができておらず、生徒への浸透が難しい部分があった。

このことから、広い視野を持ち、色々なことに気を配り、主体的に行動できる生徒がもっと増えていってほしいと思う。

#### (4) 生徒数・学級数・教職員数

学校長より、令和8年度の学校体制について報告がなされた。

#### (5) 年間行事計画及び学校運営協議会開催日程等

学校長より、令和8年度年間行事計画について報告がなされた。次に、学校運営協議会開催日程の報告がなされた。

#### (6) 学校経営方針等審議

学校長より、学校経営方針について説明がなされた。その後、質疑応答がなされた。

#### ①めざす学校像

- ・「つながり」と「まなび」のある学校
- ・地域に開かれ信頼される学校を軸に学校づくりを進めていく。

#### ②めざす生徒像

- ・互いに認め合い、学び合い、高め合う生徒
- ・主体的に学び続ける生徒
- ・自分の考えを表現し、他者の考えを受け止められる生徒
- ・正しい判断力と批判的思考を持ち、仲間や地域とのつながりを大切にする生徒
- ・心身ともに健康で、自己実現に向け主体的に行動できる生徒

#### 現状と課題

現状として、生徒の自己肯定感は徐々に向上している。また、将来への前向きな意識も高まりつつあり、これはこれまでの教育活動や地域の支えの成果だと考えている。一方で課題もある。

- ・誘惑に負けない力（約50%）
- ・計画的に行動できる力（約58%）
- ・自分に満足している生徒（約55%）と、いずれも半数程度にとどまっている。

また、自分の考えを表現する力、相手の気持ちを読み取る力といったコミュニケーション面にも課題が見られる

#### 今後の方向性

- ・これらの課題に対しては、生徒同士・生徒と教師の信頼関係の強化。
- ・学びの中での「つながり」の重視や主体的・創造的な活動の充実を通して改善を図っていく。
- ・また、その実現のために教職員研修の充実や組織的な指導体制の強化を進めていく。

#### ③学校経営基本方針

- ・安心して学べる環境づくり
- ・誰一人取り残さない教育
- ・安全で安心な学校づくり
- ・地域・小学校との連携強化
- ・教職員が働きやすい環境づくり

○義務教育学校への移行や校区再編について

令和 8 年度以降入学する小学校 1 年生の進学に関する内容について、保護者間での認知に差がある。一部では将来を見据え、転居を検討するほどの不安を抱いているケースもある。決定事項のみならず、現時点での決定内容や検討中の事項を段階的に整理し、継続的に発信していく必要がある。

○駐車場不足の問題について

教職員数に対して駐車可能台数が不足している（約 30 台に対し、最大 40～50 名程度）。その結果、本来駐車不可の場所への駐車が常態化している。生徒への教育的影響や安全面の観点からも課題がある。対応策として、外部駐車場の確保や利用方法の見直し等、現実的な対策の検討が必要である。

(7) 学校配当予算

学校長より、令和 8 年度の配当予算について報告がなされた。

(8) CS 推進コーディネーターから

各学年教員が地域へ直接説明する機会を設けている点は、地域理解を重視した優れた取組である。これまで築いてきた幼・小・中の連携体制を、制度変更後も継続・発展させることが重要である。協議会においては、疑問や要望を共有しながら建設的な議論を継続していきたい。

(9) その他

メール配信システム（スクリレ）について、小学校とアプリが異なる点について統一を求める意見が出された。